授　業 科目名	【Ｇ】　教養講義（コミュニケーション論） 【Ｈ】　教養基礎演習（コミュニケーション論） 【Ｉ】　教養基礎演習（コミュニケーション論）	区　　分	開講年次	【Ｇ】－ 【Ｈ】2 【Ｉ】2	単位数	【Ｇ】－ 【Ｈ】2 【Ｉ】2
		選　択				
科目区分	基本科目					
授業形態	対面開講					
担当形態	単　独	【Ｇ】 【Ｈ】 【Ｉ】				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	コミュニケーション能力の基礎を養う	担当者	津田　幸男			

授業概要	【概要】	グローバル化とデジタル化が進む今日、コミュニケーション能力の涵養が求められています。家族や友人、職場や地域でのコミュニケーション、そして外国人とのコミュニケーションを円滑にするための知識やスキルを身につけなければなりません。本講義では、あいさつと礼儀、コミュニケーションのモラルとマナー、言葉の使い方、ボディーランゲージ、さらにさまざまな対人コミュニケーションの場面におけるコミュニケーションの在り方を学んでいきます。
	【到達目標】	コミュニケーション能力の基礎知識とスキルを養う。
履修条件	シラバスに従い、良い受講態度で受講すること。	

アクティブラーニングの方法								
	【 － 】	事前学習型	【 － 】	反転授業	【 － 】	調査学習	【 － 】	フィールドワーク
	【 － 】	双方向アンケート	【 － 】	グループワーク	【 － 】	対話・議論型授業	【 － 】	ロールプレイ
	【 － 】	プレゼンテーション	【 － 】	模擬授業	【 － 】	PBL	【 － 】	その他

ディプロマ・ポリシーとの関連性		
	DP（ディプロマ・ポリシー）①	－　（当てはまらない）
	DP（ディプロマ・ポリシー）②	－　（当てはまらない）
	DP（ディプロマ・ポリシー）③	－　（当てはまらない）
	DP（ディプロマ・ポリシー）④	－　（当てはまらない）

他科目との　関	特にありません
教科書	なし（のちほど指定する場合がある）　適宜資料を配布する
参考書	授業中に指定する。
評価方法	次の3つによる。受講者は①、②、③全てを合格しなければならない（詳細は第1週の講義で伝える）。 ①受講態度（40%）：出席は義務であり、6回欠席で不合格。また、受講中はマナー良い姿勢と態度で臨むこと。マナーの悪い学生は減点又は不合格になる場合があるので注意。教室内は脱帽すること。座席指定。 ②学習活動（20%）：授業中に行なう様々な学習活動（グループディスカッション、口頭発表、質疑応答等）を真面目に取り組む ③学習到達度の確認（40%）：最終授業に欠席した者は理由に関わらず不合格。第14週までに6回欠席の者は不合格（学習到達度の確認は行わない）となる。なお、学習到達度を確認する時にテキストやメモは持ち込めません。
フィードバック方法	授業中に適宜行う。
評価基準	「評価方法」における得点が90点以上で授業内容に深い理解がみられる者を「Ｓ」、80点以上で十分な理解がみられる者を「Ａ」、70点以上で基本的な理解はできている者を「Ｂ」、60点以上で理解の一部に不十分な点がある者を「Ｃ」とし、60点未満で理解に誤りが多い者は程度に応じて「Ｄ」または「Ｅ」とする。なお、「学習到達度の確認」の無断欠席など、評価不能な場合には「Ｆ」とする。

授業科目名		区分	開講年次		単位数	
【Ｇ】	教養講義（コミュニケーション論）	選　択		【Ｇ】ー		【Ｇ】ー
【Ｈ】	教養基礎演習（コミュニケーション論）			【Ｈ】2		【Ｈ】2
【Ｉ】	教養基礎演習（コミュニケーション論）			【Ｉ】2		【Ｉ】2

授業回数	授業内容		
1	オリエンテーション～必ず出席すること　授業の方針、内容、評価方法について詳細に説明する。さらに「コミュニケーション」の基礎理論について	予習：　授業内容をあらかじめ把握しておく（60分）	復習：　シラバスをよく理解する（60分）
2	コミュニケーションとは何か	予習：　コミュニケーションの定義を調べておく（90分）	復習：　講義で学んだ「定義」をよく理解する（90分）
3	あいさつと礼儀	予習：　あいさつと礼儀について調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
4	コミュニケーションのルールとマナー	予習：　ルールとマナーについて調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
5	「ほう・れん・そう」～「報告」「連絡」「相談」の重要性を学ぶ。	予習：　報告、連絡、相談について調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
6	ことばとことばの使い方	予習：　ことばとことばの使い方について調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
7	ボディ・ランゲージ	予習：　ボディ・ランゲージについて調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
8	個人内コミュニケーション	予習：　個人内コミュニケーションについて調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
9	「対人コミュニケーション①」～親密なコミュニケーションのあり方	予習：　親密なコミュニケーションについて調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
10	「対人コミュニケーション②」～大学でのコミュニケーションのあり方	予習：　大学でのコミュニケーションについて調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
11	「対人コミュニケーション③」～職場でのコミュニケーションのあり方	予習：　職場でのコミュニケーションについて調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
12	「対人コミュニケーション④」～見知らぬ人とのコミュニケーション	予習：　見知らぬ人とのコミュニケーションについて調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
13	外国人とのコミュニケーション	予習：　外国人とのコミュニケーションについて調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
14	自然とのコミュニケーション	予習：　自然とのコミュニケーションについて調べておく（90分）	復習：　講義で学んだことをよく理解する（90分）
15	学習内容の再確認	予習：　学習内容全体を再確認しておく（120分）	復習：　試験の振り返り（90分）
その他	特になし		